

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
C-1	公園	一般	行田市	直接	行田市	管理施設改築事業	フェンスの改築 2公園	行田市						6	
C-2	公園	一般	行田市	直接	行田市	健康遊具整備事業	健康遊具の整備 1公園	行田市						0	
C-3	公園	一般	行田市	直接	行田市	管理施設改築事業	四阿・園内灯の改築 2公園	行田市						4	
合計													10		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	老朽化したフェンスを改築することで、誰もが安心して快適に園内を利用でき、通り抜けを防止し安全性の向上に寄与する。	
C-2	ストレッチ等が出来る健康遊具を整備することで、健康増進が図られ、併せて、幅広い年齢層の交流が促進され、地域コミュニティの形成に寄与する。	
C-3	老朽化した四阿・園内灯を改築することで、利用者が休憩施設を快適に利用でき、夜間の暗がり防止し安全性の向上を図ることで安心して公園を利用できる。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能トイレ、水飲み、園路、出入口等のバリアフリー化を実施した結果、誰もが利用できる環境が向上した。 ・遊具の更新を行った結果、誰もが安心・安全に利用できる環境が向上した。 ・水城公園の長寿命化計画が策定されたことにより、計画的な維持管理方針に基づき、今後の公園整備が図れる。
--------------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標①（都市公園のバリアフリー化適合率）	最終目標値	29%	目標値と実績値に差が出た要因	平成27年度以降も引き続き、市の単独事業費でバリアフリー化事業を推進したことにより、目標を大幅に上回る結果となった。
		最終実績値	34%		
	指標②（都市公園内の遊具の更新達成率）	最終目標値	88%	目標値と実績値に差が出た要因	平成29年度も引き続き、市の単独事業費で遊具の更新事業を推進したことにより、目標を上回る結果となった。
		最終実績値	89%		
	指標③（都市公園内の長寿命化計画策定公園数）	最終目標値	91%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	91%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<p>老朽化したフェンスを改築したことにより、通り抜けを防止し安全性の向上を図ることができた。</p> <p>老朽化した四阿・園内灯を改築したことにより、休憩施設を快適に利用でき、夜間の暗がり防止し安全性の向上を図ることができた。</p>
--	---

3. 特記事項（今後の方針等）

今後についても、公園のバリアフリー化及び遊具の更新等の整備を引き続き進めていく。